

令和 7 年度試験問題
後 期 日 程
学校教育教員養成課程
教科教育専攻

専 修 名	科 目 等	ペ ー ジ
美 術 教 育 専 修	小 論 文	P.1~P.2

注 意

1. 問題冊子及び解答用紙は指示のあるまで開かないこと。
2. すべての解答用紙の※印のついた箇所に受験番号を記入すること。(合計点数欄に記入してはいけない。)
3. ページ数に間違いがないかよく調べること。
4. 下書用紙を利用することは差しつかえないが、答えはすべて解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ること。

【問1】

まずは、作品①をよく見ましょう。

そして、図画工作や美術が苦手な児童・生徒を対象として、その児童・生徒が作品①に興味を持つような見どころを伝える文章を記述しなさい（400字以内）。

なお下記の《語群》は、作品を鑑賞する際の多くの視点のうちの5つです。ただし、文章中で《語群》を使っても使わなくても構いません。

《語群》

・補色 ・輪郭線の解消 ・野外制作 ・光の効果 ・印象派

【問2】

現在の学校教育の中で、絵画を制作したり、鑑賞したりする意義は、どこにあると考えますか。あなたの考えを記述しなさい（400字以内）。



作品①
クロード・モネ
《積叢》
1891年
油彩
75×94cm